

【最近のこれはお見事！】

『脱脱脱脱17(ダダダダ17)』こんなに勢いのある題名は実に珍しい。

# シネマズライフ

2016年6月3日発行 第104号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

だかき りおん 貴樹 諒音

【最近のこれはまずいぞ！】

『オケ老人！』素人が何かをきうかけにプロに挑戦！って話はよくわかるが、老人になってまで…と調べてしまう。

## 映画の風景 日本の風景

※ 鳥取県 鳥取砂丘 ※



『バグダッド・カフェ』という映画があつた。こんな映画だ。

ジャスミンはドイツ・ミュンヘン郊外のローゼンハイムから夫と共にドイツ・スーランド観光にやってきた。が、ラスヴェガスへ向かう途中で夫婦喧嘩になり、トランク一つもつて車から降りてしまう。砂漠の道路をとぼとぼと歩くジャスミンはやっとならぬ道にたどり着く。『バグダッド・カフェ』は、ブレンドン・カフエのモーター・ガソリンスタンド。しかし、よくに客は来ず常連のたまり場となつてしまつた。

その上ブレンドンは夫を店から追い出したばかりで、ごぶる機嫌が悪い。ジャスミンが部屋を借りて来て来てますます不機嫌になつて来た。客連に大うけしてを披露したところ、の客連に大うけして

突然、アメリカの砂漠のモーターで暮らすハメになるドイツ女性と何もかも不審だ。女のフレンドは好む。G.M.I.スマッチだが、徐々にお互い理解しあつた。ジャスミン。お互い理解しあつた。しかし、最近では人と深く関わるのを怖がっている。たおましい砂漠にいてもお互い「理解できる」のは素敵な事。最近特にそう思つてしまふのだ。

『バグダッド・カフェ』1988年 アメリカ 監督：パーシー・アドロン 製作 脚本：パーシー・アドロン エレオノール・アドロン 主題歌：『Calling you』 出演：マリアンネ・ゼーグブレヒト ジャック・パランス CCH・パウダー クリスティーネ・カウフマン

ジャスミン演じるマリアンネ・ゼーグブレヒトは監督のお気に入り、監督のみならず映画を見た観客連をも魅了した。

### コラム

#### 『サザエさん』というよき時代

中編

食事・食べ物の話がよく出てくるのも『サザエさん』の一つの特徴だ。戦後すぐには、牛がおらず山羊の乳が牛乳代わりだったよう、一升瓶にいられて買っている。行楽弁当といえは巻きずし、やがては幕の内弁当。最近では、花見での宴会は少ないが、昔は恒例だったよう。晩酌も昔は瓶ビールだったが、今では缶ビールが多いのではなからうか？昔は大家族が多く、食事時となり、大鍋に煮物を焚き、時にはつまみ食いをしたり、スーパードベックを入った惣菜をそのままテ



ブルに出すなどという事はない。そういうえば、洗濯もタライでゴシゴシと洗い、水がしたたり落ちる。今では想像できない時代もあった。意外と『押し売り』と『泥棒』が多いのには驚く。その『泥棒』と出くわして説教する…なんてシーンもあり、思えば『泥棒』とはいえ、人を見る目があった人が多かったのだろうか？生活では、結構『停電』が多かったよう、昔の家は不用品…というよりどこかのんびりしているのだろうか。

以下次号。

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。



# on air!

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します!

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もあります。m(\_ \_)m

## 『アウトレイジ』

WOWOW

2010年 日本

監督 脚本:北野武

製作:森島行 吉田多喜男 音楽:鈴木慶一

衣装:黒澤和子 山本理司

出演:ビートたけし 椎名桔平 加瀬亮 三浦友和 園村孝  
杉本哲太 塚本高史 中野英雄 石橋蓮司

6月26日(日) 25:00 ⇒ 6月27日(月) 1:00【プライム】  
7月29日(金) 24:45 ⇒ 7月30日(土) 0:45【シネマ】

関東を仕切る暴力団・山王会。総会の後、傘下の池元組組長の池元は、山王会の関内会長の若頭・加藤に呼び止められる。最近、同じ傘下の村瀬組の村瀬と親しくしており、それが関内会長が気に入らないというのだ。加藤は会長が「村瀬を締めろ」と命令したと伝える。  
困った池元は池元組傘下の大友組の大友にその仕事を命令。大友は村瀬組を策略をもって村瀬の引退・組の解散を成功させ、村瀬が仕切っていた麻薬販売、売春業などを引継ぎ、カジノも始める。ところが、村瀬はまだ密かに麻薬を扱っている事を知り、大友は池元に命令され村瀬を殺害するが…  
非情な世界でありながら“上下関係”が厳しいという歪な関係を、あからさまな《ヤ○ザの闘争》で描いているが、普通の人間も「おんなじじゃねえか」と北野監督がつぶやいている気がする。

## 『氷の微笑』

ムービープラス

1992年 アメリカ

監督:ポール・バーホーベン

脚本:ジョー・エスターハス

製作:アラン・マーシャル

出演:マイケル・ダグラス シャロン・ストーン  
ジョージ・ズンザ ジーン・トリプルホー

6月10日(金) 21:00 6月25日(土) 23:15  
7月2日(土) 23:00 7月14日(木) 23:15

ある夜、ナイトクラブのオーナーで元ロックスターの男が殺された。アイスピックで刺され無残な死だった。サンフランシスコ殺人課のニック・カランはガズと共に調査を開始。最後に出会っていたという男の恋人、キャサリン・トラメルを取り調べる。彼女は数か月前、この事件と同じ殺し方を描いた小説を発表していた。  
キャサリンは、一般人を誤って殺した過去を持つニックの話の小説にすると牽制。その上、ニックの周辺に不可解な事件が勃発し、ニックも彼女の怪しげな魅力にはまっていく…  
公開当時、シャロン・ストーン演じるキャサリンの尋問シーンが話題になり、男の方々がそれだけが見に行ってるんじゃないかかと思いたくなった。世界的にパロディ画像ができ、最近はそのような映画が少なくなった(-\_-)。  
この映画からシャロン・ストーンが、強面女優の代表になりました。

★読んで頂いてありがとうございます。よろしかったらコメントで「感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願ひします!!」 貴樹諒音

★次回発行は6月17日。発行予定第一・三金曜日です。

## 『フロークバック・マウンテン』

2005年 アメリカ  
監督:アン・リー  
原作:アニー・フルー

出演:ヒース・レジャー  
ジェイラ・キレンホール  
アン・ハサウェイ ミシェル・フィリアムズ



アメリカ・ワイオミング州、夏、同性愛が密かな恋愛だった頃。  
20歳のイニスとジャックは季節労働者として『フロークバック・マウンテン』で羊の管理を任される。山で羊を追いつつ生活していくうちに、二人は深い関係を持つてしまう。愛し合うようになった二人は、だが、やがて、仕事も終え、再会の約束もせず分かれてしまふ。  
その年、イニスは婚約者のアルマと結婚。一方、ジャックは、翌年も『フロークバック・マウンテン』を訪れるが、イニスが来っていない事を知る。やがてジャックもロデオクイーンと結婚し、彼女の。

父の会社を手伝う。4年後、再会した二人は熱いキスを交わしている所をイニスの妻・アルマが目撃された事も知らず、二人の関係は復活する。以来、年に数回釣りを理由に『フロークバック・マウンテン』を訪れる事に。年を重ねるうちにお互いの現実が邪魔をしてしまう事もあるが、毎年の逢瀬は続いている。だがある日、二人は激しい喧嘩をしてしまふ…。

同性同士である為に密かな愛にしなればならず、しかし、それゆえますます燃え上がる愛。

「愛とは決して後悔しない事」別の映画のセリフだが、その言葉を出してしまふ物語だ。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie

**シネマズライフ104号**  
✽ 発行人: 貴樹諒音 ✽  
発行日: 2016年6月3日  
cinemaz-life@movie.nifty.jp  
✽ 告知ブログ ✽  
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/



☆梅雨の季節に☆  
入りの雨が6月に続  
わたり、5月末に天  
変化した。雨も目ま  
るく変化も、最も近  
私年が、驚かす。そ  
驚かす。驚かす。そ  
さには、驚かす。そ  
まには、驚かす。そ  
うまには、驚かす。そ  
当りには、驚かす。そ  
驚かす。驚かす。そ  
なには、驚かす。そ  
実には、驚かす。そ  
のうまには、驚かす。そ  
なには、驚かす。そ  
のうまには、驚かす。そ

お体大切に!  
かしこ

§ 当世ラブキャ列伝 § 『ローマでアモーレ』 アンナ (演じる人はベネド・クルス) <アントニオとミリー編>で、新婚のアントニーが部屋で一人であるところに部屋を間違えて入ってきたコルガール。誤解からアントニーはアンナに妻としてセレブパーティに参加するように頼み込み二人で参加。ところが、そこにはアンナの馴染みが大勢いて…。コルガールが古来から女性の職業。仕事に熱し陽気に客をあしらうアンナは女性から見ても実に魅力的。

シネマズライフーcinemaz-lifeー 1 0 4 号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

著者：貴樹 諒音

メールアドレス [cinemaz-life@movie.nifty.jp](mailto:cinemaz-life@movie.nifty.jp)

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html>

《WOWOW》

『アウトレイジ』

《ムービープラス》

『氷の微笑』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。  
ぜひ、ご覧くださいませ。

**Yahoo!映画**

**rion\_takagiのMyムービー**

<http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A-->

※& 他にもいろいろやってます。(^^;) ※&

お世話になっているインターネットTV

**netchannel KYO**

**『オススメ犬映画』**

<http://www.pet-c.net/column/movie/index.php>

犬の映画を紹介してます。

§§§

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸です。

**[cinemaz-life@movie.nifty.jp](mailto:cinemaz-life@movie.nifty.jp)**

§§§

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.